

事務事業 No./名称	□サービス部門 総務-05 公平委員会事務 ■支援部門						
主管課	総務課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	公平委員会の適正運営を図る						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	424	357	309			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	424	357	309			
	人員配置数	1.3	0.3	0.3			
	人件費(千円)	11,170	2,712	2,750			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	11,594	3,069	3,059			
	市民1人当りの経費(円)	65	17	17			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
公平委員会事務	424千円	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	公平委員会報酬、全国公平委員会連合会負担金など				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	公平委員会制度を利用しやすくするため、手続のマニュアルや他市の審理事例などを紹介することにより、職員への周知を図る
課題解決のための取組	手続のマニュアルを作成した
未解決の課題	職員への周知を図る

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		職員が利用しやすくなるよう、周知を図る。	↓ B
③有効性 ○		課長(代理)			
④公平性 ○		内藤 昭二			

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
公平委員会事務	主な個別事業	593 公平委員会委員報酬	505	280	■適切 □見直し余地あり
		593 全国公平委員会連合会負担金	45	45	■適切 □見直し余地あり
		593 全国公平委員会連合会関東支部分担金	18	18	■適切 □見直し余地あり
		593 神奈川公平委員会連合会分担金	6	6	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり